

梅崎春生 小説家。戦争の限界状況を追求し、「第三の新人」の先駆者とされる。

うめざきはるお

21ヶ条要求・1915 = 生。福岡県出身。

原敬首相暗殺1921 = 6歳 :

護憲三派圧勝1924 = **9歳** :

満州事変・・1931 = 16歳 :

国際連盟脱退1933 = **18歳** :

日中戦争始・1937 = 22歳 : 旧制五高をへて,

第二次大戦始1939 = 24歳 : **東大在学中に短編「風宴」を発表,**
大政翼賛会・1940 = 25歳 : 東大国文科卒。

日米開戦・・1941 = 26歳 :
・・・・・1942 = **27歳** :

年金+総武装 1944 = 29歳 : 海軍に召集され,

敗戦・・・・1945 = 30歳 : 敗戦をむかえる。

新憲法公布・1946 = 31歳 : ***軍隊生活に取材した「桜島」によって戦後の文学活動を開始し,**

新憲法施行・1947 = 32歳 : **「日の果て」,**

極東裁判決・1948 = 33歳 : ***「B島風物誌」など、戦争をえがいた作品で新時代の作家としての地位を確立した。**

独立回復・・1951 = **36歳** :

梅崎の時代への態度は、正義をかけた戦争を批判する立場とはちがって、私的体験と日常性を重くみる。この立場はのちに登場する"第三の新人"と共通し、しばしば"第三の新人"の先駆者とされる。

自衛隊発足・1954 = 39歳 : **日常生活の危機を軽妙にえがく作風を通して「ボロ家の春秋」を書き,**

55年体制始・1955 = 40歳 : ***直木賞受賞、「砂時計」など,**

安保闘争・・1960 = **45歳** : **その後、広い作家活動をつづけるが,**

健康の不調で,

TV宇宙中継始1963 = 48歳 : 弟をモデルとした**長編「狂ひ風」**を著した年、吐血し、

大学紛争始・1965 = 50歳 : 戦中から戦後にまたがる自身の歩みを定着した***「幻化」を遺作として、肝硬変で没した。**